

2011.11.25

## 博報堂生活総合研究所調べ これから3ヶ月間の「消費意欲指数」

11月からの消費意欲指数 **58.6** 点  
前回調査(8月 56.6点)より2.0点増加

**消費意欲指数とは**…全国の一般生活者6,000名に対し、11月上旬時点で「消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたのこれから3ヶ月間の消費意欲は何点ぐらいでしょうか?」と質問した結果が、「11月からの消費意欲指数」です。今回は2011年5月、8月に続く第3回の調査です。次回発表は2012年2月を予定しています。

### 1. エリア分析 年末年始に向け、消費意欲は全国的に上昇。

11月上旬に調査した「これから3か月間(11月上旬～2012年2月上旬)の消費意欲指数」の全国平均は、前回(8月上旬調査)より2.0点増加し、調査を開始した今年5月以来最高の58.6点となりました。甲信越と四国を除く8地域で、調査開始以来最も高い指数となっています。

消費意欲指数が過去2回と比べて最高となった理由としては、季節的な要因が大きいようです。ボーナス支給やクリスマス、正月など年末年始の様々なイベントで、お金を使う機会が増えるという声が目立ちました。

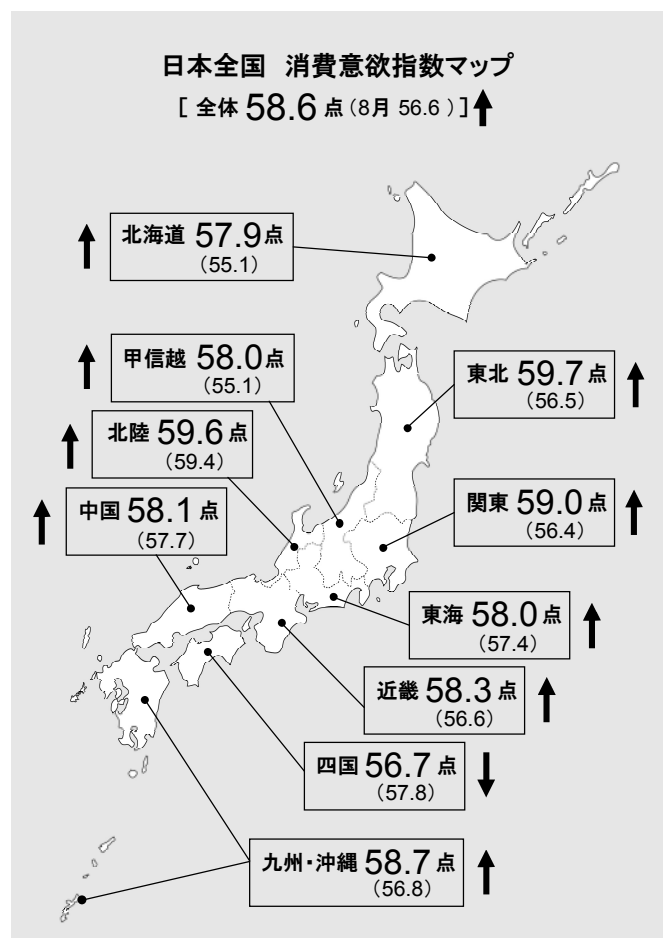
地域別で最も高かったのは東北で59.7点でした。前回より3.2点増え、調査開始の5月時点からも4.3点増と他地域に比べ大きく伸びました。東北地域の生活者の声でも年末年始で消費意欲が高まるとの意見が見られました。また、復興に向けた第3次補正予算といった社会的影響も考えられます。

一方、関東、近畿など大都市圏では、欧州の経済不安や円高、株安などで景気の先行き不透明感が拭えないため消費を抑制するという人が、前回に続き多くなっています。

※5月からの時系列スコアは、3ページ目の参考資料をご参照ください。

#### 《生活者の声》

- クリスマス、お正月などイベントが続くから。冬のボーナスも出るし(85点・女性26歳・岩手県)
- 冬に向けて、冬物衣料やお歳暮、クリスマス、お正月などいろいろ楽しみたい(85点・女性31歳・宮城県)
- 日本全体の景気が悪く、先のことを思うと消費意欲がわからない(50点・男性45歳・大阪府)
- 景気回復が遠のき個人消費は減少せざるを得ない(45点・男性57歳・埼玉県)



※( )内は前回(8月)の点数。↑は前回比較でプラス、↓はマイナスを示す。

## 2. 男女分析 男女ともに消費意欲は上昇。女性が牽引。

男女別の消費意欲指数は、男性が54.9点、女性が62.4点とともに前回より増加。今年5月に調査を始めて以来最高となりました。男女差は過去2回の調査より拡大し、女性の元気さが目立ちます。特に女性の20代、30代は毎回60点を超え、女性50代も今回初めて60点台に乗りました。男女年代別でも全年代で前回は上回り、男性20代を除き調査以来最も高いスコアとなっています。

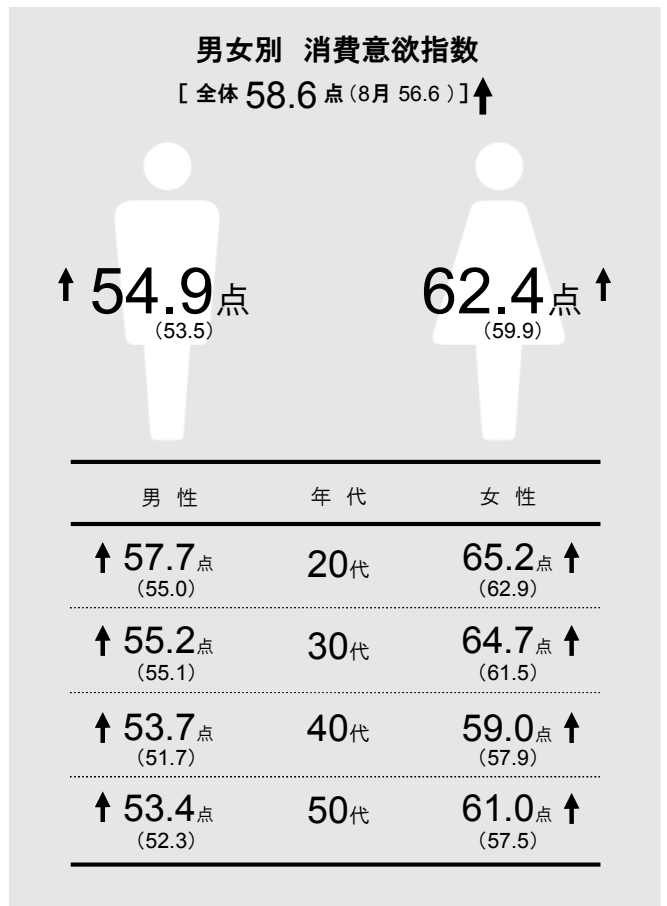
消費意欲の高い理由をみると、今回は男女ともにボーナス消費や年末年始のイベント消費に関する声があがっています。女性の20代、30代で特に多く、女性の消費意欲が全体を牽引しています。また、女性の40代、50代を中心に、震災以降、日々の暮らしの中で必要なものを見極め、必要な分だけ買う、といった消費行動をとりたいたいという人も見受けられました。

消費意欲の低い理由をみると、前回に続き、終息しない欧州の経済危機を背景にした景気の低迷や政治の先行き不透明感が男性の各年代であげられています。

※5月からの時系列スコアは、3ページ目の参考資料をご参照ください。

### 《生活者の声》

- ボーナスも入るし、バーゲンの時期なので。また年末年始にかけて物入りなので(100点・女性28歳・愛知県)
- 秋冬の洋服やお歳暮など欲しいもの、準備するものが増えるから(80点・女性38歳・岩手県)
- 消費意欲はあるが、よく吟味して選びたい。本当に必要かを見極めることが大切だと思うから(70点・女性52歳・神奈川県)
- 景気回復が遠のき個人消費は減少せざるを得ない(45点・男性57歳・埼玉県)
- デフレ、円高、天災、TPP、増税、年金など今は「我慢」の時期だと思うから(30点・男34歳・奈良県)



※( )内は前回(8月)の点数。↑は前回比較でプラス、↓はマイナスを示す。

## 参考資料

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたのこれから3ヶ月間の消費意欲は何点ぐらいでしょうか？

＜消費意欲指数時系列一覧表 ～エリア別・性年代別～＞

		2011年		
		5月	8月	11月
全体		57.4	56.6	58.6
エリア別	北海道	56.1	55.1	57.9
	東北	55.4	56.5	59.7
	関東	57.5	56.4	59.0
	甲信越	58.8	55.1	58.0
	北陸	59.3	59.4	59.6
	東海	56.6	57.4	58.0
	近畿	57.9	56.6	58.3
	中国	57.5	57.7	58.1
	四国	56.3	57.8	56.7
	九州・沖縄	57.9	56.8	58.7
男性	全体	54.1	53.5	54.9
	20代	58.0	55.0	57.7
	30代	54.4	55.1	55.2
	40代	52.4	51.7	53.7
	50代	52.2	52.3	53.4
女性	全体	60.6	59.9	62.4
	20代	64.7	62.9	65.2
	30代	62.4	61.5	64.7
	40代	57.8	57.9	59.0
	50代	58.3	57.5	61.0

(単位:点)

※5月、8月、11月のスコアを比較し、最高値に網掛け。

## 調査概要

**調査地域** 全国47都道府県

**調査手法** インターネット調査

**調査対象** 20歳から59歳までの男女6,000サンプル(有効回収数)

人口構成比を反映するよう、エリア別に性年齢10歳刻みで割付

合計	男性	20代	30代	40代	50代	女性	20代	30代	40代	50代
6,000	3,031	654	839	779	759	2,969	623	819	767	760
合計	北海道	東北	関東	甲信越	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄
6,000	262	434	2,052	244	137	707	976	337	178	673

**調査時期** 2011年11月1日(火)～3(木)

毎年2月、5月、8月、11月に調査を実施

**企画・分析** 博報堂生活総合研究所

**実施・集計** 株式会社 東京サーベイリサーチ

**問い合わせ先** 株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所(小原・吉川) TEL.03-6441-6450  
株式会社博報堂 広報室(山野・藤井) TEL.03-6441-6161